



St.Mary's

セント・マリーズ

第10号

2012年7月

ご自由に
お持ちください

形成外科、1-6病棟、外来スタッフ



目 次

INDEX

2 インタビュー ひと
情報システム部長
大田 喜孝

3 診療科訪問
形成外科
雑賀 厚臣 臨床部長

4・5 対談
横倉日医会長、島院長

6 医療トピックス
7 病気と向き合う
関節リウマチ

8 健康エクササイズ
水分補給
健康献立
イカとトマトのサラダ

9 連携登録医のご紹介
10・11 外来診療体制

今回のひと

情報システム部長 大田 喜孝

1975年、中央臨床検査センターに勤務。同センター室長を経て、現在情報システム部長、診療統括部門4事務長を兼務。「脳脊髄液の細胞形態学的研究」で34回小島三郎記念技術賞を受賞。山口大医学部非常勤講師なども務める。

**当院は「ISO9001」の認証を取得しました。
医療の質を高め、患者さんの満足度を高めること、
認証の意義を今後も追求したい。**

—— まずISOとは何ですか？

International Organization for Standardization(国際標準化機構)の略です。工業標準の策定を目的とする国際標準化機関で、1947年に設立され、現在147カ国が参加しており、本部はスイスのジュネーブにあります。

—— ISOにはどんな種類がありますか？

一般によく知られているものでは、ISO9001(顧客満足向上の品質マネジメントシステム)、ISO14001(環境マネジメントシステム)があります。当院では2007年12月にISO15189(臨床検査に特化した技術と品質のマネジメントシステム)認定を、2012年3月にISO9001認証を取得しました。

—— 「ISO9001」認証の意義は？

ISO9001は、もともと工業製品を安定生産するための仕組みとして1987年に開発された国際規格です。製造やサービス提供といった業務プロセスの維持・改善を行い、顧客満足を高めることを目的としたマネジメントツールです。

2000年以降、わが国の医療において品質管理の重要性が問われるようになり、ISO9001に取り組む医療施設が増えました。

—— 病院にとってどんな意義がありますか？

病院における「品質」とは「医療の質」を示すものです。病院組織におけるISO9001導入は、様々な診療プロセスに対する改善を繰り返し、医療の本質を高めて行くことで、患者さんやご家族の満足度を向上させることを目的としています。

—— 認証に至るまでの取組みは？

当院がISO9001の認証取得を決意し、キックオフを行ったのが2010年11月です。約1年5ヶ月の活動期間を経て今年の3月に認証登録することができたわけですが、実際には2008年6月から病棟業務の標準化を目的としたプロジェク

ト活動を開始しており、38種の看護業務の標準化を可能にしました。これが今回の認証取得のベースとなりました。

—— 今後の目標は？

ISOの品質マネジメントシステムを日常業務に定着させることで、患者さんに最も信頼される病院を目指すことです。このほど院内にTQM(Total Quality Management)部が新設されました。TQM部ではISOをはじめ、質の高い標準化された医療を提供するための「クリニカルパス」や、医療の質の指標となる「クオリティーディケーター」を常に管理し、継続的な改善を推進します。

—— ご自分の健康管理はどうされていますか？

胸を張ってお伝えできるような健康管理はやっていませんが、3食ちゃんと食べ、間食をしないこと、できるだけ睡眠をとることだけは心掛けています。5年前に煙草を止めたことはあらゆる意味で良かったと思っています。

—— 趣味は何ですか？

唯一最大の趣味は魚釣りです。5~6年前まではよく離島遠征していたのですが、なかなか時間がとれなくなり、今は1~2カ月に1度のペースで近場の波止などに通っています。海を見るのが好きで、気が滅入っているときや、なんとなく体調がすぐれないときなども潮風にあたるとリフレッシュできます。

—— 座右の銘は何ですか？

たくさんあります。本を読んだり、話を聞いたりして感銘を受ける言葉があればすぐに書き留めて、行き詰ったときなど読み返しています。とりわけいつも己に言い聞かせている銘は次の3つです。「道は近くとも行かなければ到達せず、事は小さくても行わなければ成就しない」「樂をして感動的な景色の眺望はあり得ない」「Simple is best」



introduction

形成外科

最新の治療を導入し、幅広い疾患に対応
手術は年間1,000症例を超えます

当院形成外科は、年間1,000例以上の手術症例を誇る全国でも屈指の形成外科認定施設です。幅広い疾患に対処できるように、日々最新の知識と技術を取り入れるように努めています。力を入れている分野は、形成外科の専門性を活かした以下の4分野になります。

とくに4つの分野に力を入れています

- | | |
|---|--|
| ① 口唇口蓋裂をはじめとした先天異常の治療
② スーパーマイクロサージャリーを用いた各種治療
(切断指再接着、リンパ浮腫治療) | ③ 乳房再建をはじめとした各種再建
④ 眼瞼下垂症 |
|---|--|

**① 各科と連携、海外での医療支援も**

口唇口蓋裂の治療では、口唇口蓋裂センターとして、小児歯科、矯正歯科、言語治療科とのスムーズな連携を特徴としています。各科との協力により、術前顎矯正や骨延長を用いた顎矯正手術など、最新の治療を取り入れています。患者さんの家族向けには、母親学級やクリスマス会を病棟主催で行い、より親しみやすい診療を目指しています。またボランティア協力として、ADRA JAPANのネパール口唇口蓋裂事業に参加し、手術を受けることができないネパールの人々のために、無償で手術を行っています。今年も手術室・病棟スタッフを含めた3名で参加する予定です。



〈ネパールでの手術〉照明が暗く登山用の照明を用いています。

② 整容的に優れた結果が得られます

スーパーマイクロサージャリーとは、0.5mm以下の血管を縫合する最新の治療法の事です。これは特別なトレーニングを受けた術者が、専用の道具を用い初めて行うことができます。従来は断端形成を行っていたような指尖部の切断でも再接着が可能であり、整容的に優れた結果が得られます。また悪性腫瘍術後の難治性の上肢・下肢のリンパ浮腫は、従来は良い治療法がありませんでしたが、スーパーマイクロサージャリーの技術により、治る病気になってきており、当院でも少しづつ症例が増えてきております。

③ 喪失感の軽減めざす乳房再建

他科との連携として、乳腺外科とタイアップした乳房再建に積極的に取り組んでおります。当院は形成外科と乳腺外科がいつでも協力できる体制にあり、安心して乳房再建を受けていただくことのできる数少ない施設です。シリコンインプラントから自家組織による再建まで、幅広く対応しており、刺青による乳輪乳頭再建も行っております。乳房を失ったあるいは失うかもしれない患者さんが、少しでも喪失感を感じずにすむような治療を目指しています。

④ 明るく、見やすく…「世界変わった」

また近年眼瞼下垂の患者さんも増えています。1時間程度の日帰り手術ではありますが、とっても明るく見やすくなっている世界が変わったと、大変喜んでいただいております。

形成外科臨床部長 雜賀 厚臣

スーパーマイクロサージャリーはまだ始まったばかりの分野です。当院は、九州でこの治療を行うことができる数少ない施設です。

眼瞼下垂症は、気づかない間に進行し、頭痛や肩こりの原因になることもあります。最近目が疲れやすいと感じたら、一度形成外科専門医の診察を受けに来てみてはどうでしょうか？

対談

横倉日本医師会会長、島院長に聞く

Theme

地域医療の充実を目指すための、
実践と今後の展望

地域医療の充実は私たち医療機関の最重要課題です。より良い地域医療の構築のため、病院と診療所の連携（“病診”連携）など様々な課題と取り組んでいます。

地域における医療の現状や今後の展望について、日本医師会の横倉義武会長と聖マリア病院の島弘志院長に語ってもらいました。

循環型医療の形成を

地域医療の現状を
どう見ていらっしゃいますか。

横倉会長 病院勤務医の専門医指向が強くなり、かつ医療に対する期待と要求が強くなってきています。そのため、業務が集中し医師のみならず他の医療従事者も疲弊を来しているのが現状です。その問題解決の一つとして、地域医療連携による試みがあります。

急性期病院群、回復期リハビリ病院群、療養病院群の各医療機関の機能と、在宅ケアを行う、かかりつけ医との連携により、患者さんの疾病の経過に応じて適切な医療を提供しようというものです。かかりつけ医で定期的なフォローを行い、病院の機能が必要になったときに紹介し治療を行う。そして、その後の経過によって再びかかりつけ医に紹介するという、循環型の医療の流れを形成しています。

しかしながら、スムーズな医療連携がなされていない現状もみられます。例えば、患者さんが医療連携によってこれまで通っていた病院との直接のつながりがなくなってしまうことの不安や、かかりつけ医が、医療連携において医療の質を維持するために必要な治療の標準化や情報共有のための体制整備に新たな投資が必要となるなどが挙げられます。

そこでカギを握るのが地域連携パスです。



横倉 義武氏 力ギ握る 「地域連携パス」

地域連携パスの役割は。

島院長 地域連携パスは、患者さんを送り出す医療機関と受け入れる医療機関で、あらかじめ各疾患に応じて、標準的な治療方針や治療期間、転院の基準などを定めた診療計画書です。さらに、各医療機関が経過観察に必要な情報を時系列で記録できる表になっています。送り出す医療機関の医療行為など、患者さんにとっての資産といえる患者情報が受け入れ医療機関へ引き継がれます。そのために、かかりつけの医療機関で質が保証された治療を継続的に行うことができます。

どのような特長がありますか。

横倉会長 地域連携パスは、診療行為の標準化を行うとともに、どの機能を有する医療機関で診療を行うことが、患者さんにとって最も理想的なのかを明確にしてくれます。今後どのような診療を行い、どのような機能の医療機関で治療を行う必要があるのかの道標になり、そのことが患者さんにとって、さらに安心感の醸成につながるものと考えています。

今後の展開については。

島院長 現在、私たちの筑後地区では脳卒中と大腿骨近位部骨折の治療を対象にした地域連携パスを運用しています。今後、複数の医療機関にまたがる患者データを時系列で蓄積すれば、診療計画から逸脱した事例の



島 弘志院長

分析や計画の見直しを効率化でき、医療の質の向上にも貢献が可能となります。さらに、連携する医療機関同士が地域連携パスの評価や見直しのために定期的に会合を開催しており、連携強化にもつながり、今後の活用の可能性はさらに大きく広がるものと考えています。

お二人の略歴

横倉 義武氏 久留米大学医学部卒。
福岡県医師会会長、日本医師会副会長を経て、2012年4月から日本医師会会長。みやま市の医療法人弘恵会ヨコクラ病院院長・理事長。

地域の実情に合った医療体制を

電子カルテシステムは
どのような状況ですか。

島院長 すでにIT(情報技術)による患者情報の共有化を行うための電子カルテシステムの運用を開始しています。また、情報共有化に関しては、迅速かつ低成本で、病院と診療所、病院と病院が双方向に画像、検査、薬剤などの患者情報の共有化を図ることが可能なシステムの構築を完了し、現在多くの施

設がそれを利用して効率的な情報共有化を図っています。今後は医師会や行政の後押しも得ながら、同システムの更なる普及を進めていければと考えています。

最後に日本医師会としての取り組みをお聞かせください。

横倉会長 国民の皆さんの幸福の原点は健康にあり、それを支える医療体制を構築することが私たちの最重要課題です。そのためには地域の実情に合った医療制度を築かなければなりません。実践例のひとつが、連携パスによる地域完結型の医療です。地域医療の充実によって、誰もが、いつでもどこでも、良質な医療が受けられる医療体制を構築する。それが私たちに課せられた社会的責務だと肝に銘じています。地域の医師会、自治体、医療機関と連携して取り組んでいきたいと思います。

島 弘志院長 山口大学医学部卒。
久留米大学病院勤務を経て、1985年から聖マリア病院勤務。外科診療科長、救急医療センター長などを務め、2009年4月から病院長。

突然死の原因にも

今回は、心臓病の一つである不整脈の治療法として、当院で施行しているカテーテル心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)についてご紹介致します。

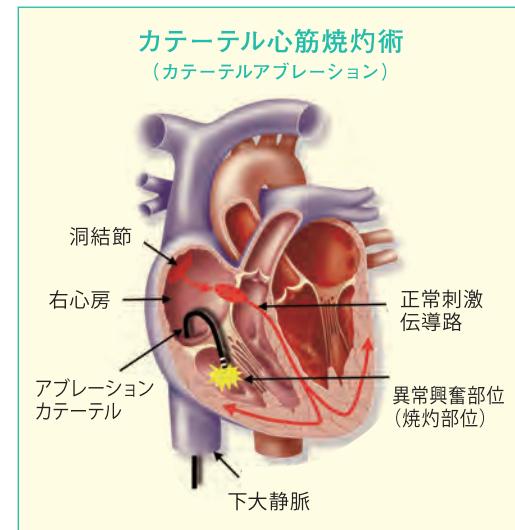
不整脈とは、心臓の拍動数(心拍数)あるいはリズムの異常のことです。症状は、軽い動悸から意識消失(失神)を来すものまで様々で、突然死の原因となることもあります。異常に遅い場合を徐脈性不整脈、早い場合を頻脈性不整脈と呼びます。心拍数が正常でも、リズムが乱れ規則正しくない場合も不整脈です。



循環器内科医長
盛重 邦雄

低侵襲かつ安全に

カテーテルアブレーションが効果を発揮するのは、これら不整脈のうち頻脈性不整脈の場合です。本来、心拍数やリズムは、心臓の右心房という部屋の洞結節と呼ばれる所で電気的に調節されます。その刺激・興奮が上から下へ順序正しく伝わることで、心臓が規則正しく拍動します。この刺激の通り道を刺激伝導路と呼びます。頻脈性不整脈の場合、この洞結節や刺激伝導路以外に、心拍を乱す異常な興奮部位が存在します。従来は、薬物によってこの興奮を抑制することが主な治療でしたが、効果は不確実で、その副作用は無視出来ないものでした。一方、近年のカテーテル治療の技術進歩は目覚ましく、極めて低侵襲かつ安全な不整脈治療も可能となっていました。



症状と薬の副作用から解放

カテーテルというのは、医療用の細い管の総称です。目的によって様々なカテーテルがあります。アブレーションで用いるカテーテルの先端には電極がついており、この電極で心臓内の異常興奮部位を見つけ、さらに電極先端から高周波通電を行うことで、異常興奮している心筋組織を焼灼することができます。焼灼と呼んでいますが、炎を出して燃やすわけではなく、カテーテル先端に接触している組織の温度を高周波通電によって上昇させます。高温下で異常組織は死滅(壊死)するため、不整脈を根治することが可能です。根治出来れば、患者さんは症状と薬の副作用から解放されます。

症状出たらすぐ相談を

昨年度は当院にて40名以上の患者さんにこの治療を行い、殆どの患者さんで内服薬の中止や減量が可能でした。不整脈の患者さんは、突然の動悸で救急外来を受診されることも多い一方で、受診時には発作が治まっていることが多く、確定診断することが中々難しいものです。当院では、不整脈の診断・治療に力を入れています。放置しておくと危険な場合も多いため、動悸や脈拍の不整を感じられたら、躊躇せず、正確な診断のため当院循環器内科外来へ是非ご相談ください。ご連絡をお待ちしています。

— 関節リウマチの治療 —

精密な画像診断、骨強度の評価もできます

最近の関節リウマチの治療は、発病早期からの強力な抗リウマチ薬による治療や、治療目標に達するための治療調整などがあります。中でも治療薬のメソトレキセートは、早期例においても長期例においても欠くことのできない中心的な抗リウマチ薬として認知されており、2011年2月より、第1選択薬として週16mgまでの投与が可能になりました。ただ、メソトレキセート単剤での効果が不十分な場合に、他の製剤との併用をどうするかは今後の課題です。

メソトレキセートの単独投与では、予後の不良因子を多く抱える患者さんに対しては「関節破壊」のリスクが高いという難点があります。たとえ16mg/週を用いても疾患を制御できない場合には、関節破壊が進行してしまいます。

結局、骨の破壊がリウマチ治療における最大の課題となっています。近年、免疫と骨の相互作用に関する「骨免疫学」と呼ばれる分野が発展し、骨免疫学的なアプローチにより、すでに臨床で用いられている抗リウマチ薬の骨への作用を解明したり、新しい治療戦略を探ったりする道が開けてきました。



最新鋭の3テスラMRIによる画像診断も可能です

関節リウマチに関して、当院ではとくに診断の困難な早期の関節リウマチ症例に対しては、最新の画像診断装置である3T(テスラ)-MRIによる画像を放射線科と連携して診断し、必要であれば骨強度の詳細な評価もできる環境を整えています。関節リウマチの不安を抱いている患者さん、また連携登録医の先生方で関節リウマチ診断に難渋される場合はご連絡頂ければと思います。お待ちしています。

「破骨」の仕組み解明し抑制

骨破壊の実行役は「破骨細胞」です。近年の研究では、「破骨細胞」を誘導するのは、タンパク質の一種であるインターロイキン-17を多量に生じさせる「Th17細胞」であることが明らかになってきました。インターロイキン-17は滑膜炎を悪化させ、炎症性サイトカイン(タンパク質の一種)などの産生を促進します。この炎症性サイトカインは、「破骨細胞分化因子」の発現をさらに高め、「破骨細胞」の分化を活性化してしまいます。このように炎症性サイトカインは、炎症とそれに起因する骨破壊の鍵となる媒介物であり、これを抑制することによって、強力な骨破壊抑制効果が期待できることが分かつてきました。



リウマチ膠原病内科
診療部長
中野 輝明

第9回 水分補給

このコーナーでは、元気で機能的なカラダを手に入れるためのエクササイズを紹介します。今回は「水分補給」です。

質問 スポーツ時の水分補給はどのようにすればいいですか？ 20代女性 看護職員

回答 蒸し暑い日が続いていますね。屋外でのスポーツには特に注意が必要な季節です。残念な話ですが、毎年夏場のスポーツ時の事故が報告されています。安全対策としては水分をこまめに補給することが重要です。

では、どのように補給したらよいか具体的に解説します。

まず、補給する水の温度は、温かいものよりも冷たいものを用意しましょう。

右の図は補給水の温度と胃の内部貯留量を示しています。実験的には、補給水の温度が低い方が吸収率が高く、胃の中に残っている量が少ないことが確かめられています。

世界的なトップランナーの中には0℃の水を愛用している人もいるほどです。



十分冷やして、飲めるようにボトルを工夫するといいですね。

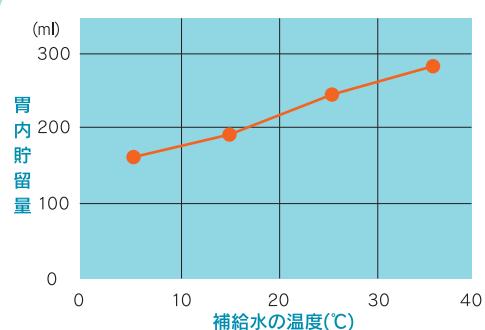
飲むタイミングは、スポーツの種類によりますが、15分～30分毎に100～200ml程度の水分補給を目安にしましょう。のどが渴いたと感じる前に飲むのが原則です。

また、スポーツドリンクを使う場合は注意が必要です。味が濃い目、つまりブドウ糖や砂糖が多く含まれていると、胃腸の負担を増やすだけでなく、体脂肪の分解を抑えて、筋肉での糖質の分解が促進され乳酸が発生しやすくなります。すなわち、筋肉の疲労が起きやすくなるのです！一般的なスポーツドリンクは水で2倍程度に薄めて使用することをお勧めします。

以上の点に十分気を付けて、夏場のスポーツをお楽しみください。



国際保健センター
米国スポーツ医学会認定HFS
大渕 勝敏
運動:三宅 華恵



図：補給水の温度と胃内貯留量（コスティル1970）

健康献立

イカとトマトのサラダ

●栄養指導管理室●

私たちの食生活に彩りと旨味を与え、欠かすことのできないトマト。皆さんご存じのとおりトマトは美味しいだけの野菜ではありません。ヨーロッパでは「トマトのある家に胃病なし」と言われ、薬効をもった野菜として扱われました。トマトには①酸味が胃液の分泌を促し、たんぱく質などの消化を助ける②ビタミンCが collagenを作り、老朽化した血管を丈夫に保つ③カリウムが食塩の成分であるナトリウムの排泄を促し、血圧を下げる作用がある—などたくさんの効能があります。



材 料 <1人前>

	【調味料】	
イカ	25 g	パセリ 0.5 g
小麦粉	2 g	油 3 g
油	2 g	酢 4cc
トマト	60 g	塩 0.4 g
玉ねぎ	15 g	コショウ 0.1 g

作り方

- ①イカは少し大き目の短冊に切り、小麦粉を付けて、175℃で約5分間揚げる。
 - ②玉ねぎは千切りにし、よく水にさらして臭みをとったら、水気を切る。
 - ③トマトはイチョウ切りにし、水気を切る。
 - ④調味料をよく混ぜ合わせたあと、①～③の材料と合わせる。
- ☆このとき、トマトの形がなくなるないように、やさしく混ぜること！

かかりつけの お医者さん

当院の連携登録医の先生をご紹介します。

北里医院

北里 誠也 院長

診療科目 内科、胃腸科、呼吸器科、循環器科、小児科、
放射線科、東洋医学(漢方薬)
2012年4月より久留米医師会会長



この場所での開業の経緯

昭和15年に父が久留米市日吉町で開業しました。しかし、空襲で焼かれその後、現在地に移転し病院に改変しています。その後、父、兄と死去のため、平成2年に院長就任し平成17年より無床診療所です。

主な専門・研究のテーマ

主に消化器や呼吸器の疾患の診断、治療を行っています。なんでも相談頂けるホームドクターを目指しています。

対応可能な検査

経鼻内視鏡検査、ホルター心電図など。

診療の傾向など

特にありません。病気より人を診たいと思っています。

大学時代のエピソードなど

久留米大学とくに救命救急センターでいろんな先生方と知り合えたこと、また久留米医師会でも多くの方と知り合えたことが財産です。



北里医院

☎0942-35-2552

住所:久留米市六ツ門町19-1

交通:日吉町バス停より徒歩約5分、西鉄久留米駅より徒歩約10分

駐車場:10台

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~17:30	○	○	○		○	
9:00~13:00				○		○

※日曜・祝日休診

聖マリア病院 外来診療体制

(2012年6月1日現在)

● 第1診療部 3階 Aブロック | 内線:2001,2002

	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前	●	●	●		●
外科	午前	●	●	●	●	●
呼吸器内科	午前	●	●	●	●	●
呼吸器外科	午前	●		●	●	
リウマチ 膠原病内科	午前 ☎		●		●	

※新患は事前に電話で問い合わせてください

● 第1診療部 3階 Bブロック | 内線:2003

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	●	●	●	●	●
小児整形外科	午後					☎ ●
脳神経外科	午前	●		●	●	
脳血管内科	午前		●	●	●	●
神経内科	午前 ☎	●	●		●	
	午後					● (第1週)

● 第1診療部 3階 Cブロック | 内線:2004

	月	火	水	木	金	土
形成外科	午前	● ※熱傷は形成外科	●	●	●	●
	午後					
皮膚科	午前	●	●	●	●	●
泌尿器科	午前	●	●	●	●	●
腎臓内科	午前		●	●	●	
	午後				● (CKD外来)	

● 第1診療部 3階 Dブロック | 内線:2005

	月	火	水	木	金	土
産婦人科	午前	●	●	●	●	●
	午後			☎ (婦人科腫瘍専門外来)	☎ (婦人科腫瘍専門外来)	
放射線治療科	午前	●		●	●	
血液内科 内線:2006	午前 ☎	● ※新患は予約制、緊急時はこの限りではありません		予備日	●	
緩和ケア内科	午前 ☎	● ※新患は紹介状持参を	●	●	●	
	午後 ☎	●	●	●	●	

● 第1診療部 3階 Eブロック | 内線:2007

	月	火	水	木	金	土
精神神経科 心身症クリニック	午前 ☎	● ※新患は予約制	●	●	●	●

聖マリア病院 外来診療体制

(2012年6月1日現在)

● 第1診療部 3階 Fブロック | 内線:2008

	月	火	水	木	金	土
歯科・口腔外科	午前	●	●	●	●	●
	午後	●		●	●	●

● 第1診療部 3階 Gブロック | 内線:2009

	月	火	水	木	金	土
耳鼻いんこう科	午前	●	●	●	●	●
	午後					
眼科	●	●	●	●	●	●

● 第1診療部 2階 Sブロック | 内線:2125,2126

	月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前	●	●	●	●	●
	午後	●		●		
小児循環器内科	午前	(外来開始時間 10:30~)	●			●
	午後		●			
心臓血管外科	午前	(外来開始時間 10:30~)	● (再来のみ)	● (下肢静脈瘤・動脈瘤:木曜10:30~)		
糖尿病内分泌内科	午前	●	●	●	●	●

● 第2診療部 1階

	月	火	水	木	金	土
小児科 内線:2021	午前	● ※小児科は15歳まで	●	●	●	●
	午後 退院再来	●	●	●	●	●
新生児科 内線:2031	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
小児外科 内線:2026	午前	●	●	●	●	●
小児歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●
矯正歯科 内線:2053	午前	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●

● 診療受付時間 | 午前8時30分～11時30分、午後診療は予約制になっております。(夜間救急の受け付けは1診にて行います)

● 夜間・日曜祝日の当直体制 | 内科・外科・整形外科・産婦人科・形成外科・小児科・新生児科・脳神経センター・腎センター・循環器センター・画像診断部の各医師。なお、眼科・精神神経科についてはオンコール制(呼び出し)。

● 耳鼻いんこう科・皮膚科・歯科について | 夜間・日曜祝日の診療は行っておりません。

※諸々の事情により、上記の予定に変更が生じる場合もございますが、どうぞご了承ください。

● ご案内 ●

訪問介護サービスを提供

聖マリアヘルパーステーションを開設しました

介護や支援が必要と認定された方のご自宅へお伺いし、自立した在宅生活を支えるために、ご利用者の能力に応じた日常生活を営むことが出来るよう、身の回りの介護を中心とした支援を行います。

対象の方

介護保険認定の方（要介護1～5、要支援1・2）

介護
サービスの
内容

生活援助

身体介護

など

など

お問い合わせ先

聖マリアヘルパーステーション（聖マリア病院 聖母病棟1階）

TEL 0942-46-1600 | FAX 0942-46-1601

「一般内科」外来診療体制の変更について

本院では、平成24年6月5日（火）より、原則として、ご来院の際に紹介状をお持ちでない感冒症状等の一般内科対象の患者さんは、かかりつけ医（他医療機関）をご案内させていただいております。

なお、救急診療はこれまでと変更ありませんが、内科の受診については、その症状にあった内科系診療科（消化器内科、呼吸器内科、循環器内科など）宛ての紹介状をご持参ください。

今後も、かかりつけ医の先生との連携による地域医療提供体制の充実に取り組んで参りますので、皆様方のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院長

◆ 平成25年度の看護職員を募集しています ◆

募集職種：看護師・保健師・助産師（既卒者可）／お問い合わせは人事部まで ☎0120-768-314 ※詳しくはホームページを参照ください。

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

（財）日本医療機能評価機構認定病院

福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942(35)3322(代) FAX 0942(34)3115(代)

<http://www.st-mary-med.or.jp>

広報誌についてのお問い合わせは経営企画室広報担当まで

